

令和8年度事業計画

I 令和8年度の事業概要

1 事業方針

- ・ 令和8年度については、引き続き3つの事業の柱※に K-RIP の原点である「マッチング・交流の場の提供」を一層加味して事業を推進するとともに、昨年度開始した大学生との交流事業を拡大させることなどにより、会員企業への支援を充実させ、九州を環境エネルギー産業等の先導的地域とすることに貢献する。

- ※ 1 メディアミクスによる情報発信事業
- 2 情報提供&マッチング事業
- 3 ASEAN 交流事業

- ・ 「1 メディアミクスによる情報発信事業」については、ホームページやメルマガ配信を活用し、K-RIP 各種事業の紹介・募集や、国の環境エネルギー政策・補助制度の紹介、他団体のセミナー・イベントの案内等の情報発信を実施する。また、YouTube の「K-RIP World Channel」にベトナム語やインドネシア語等による会員企業の事業紹介動画を掲載し、現地企業とのオンライン商談等に活用するとともに、エコ塾のアーカイブ配信等を行う。
- ・ 「2 情報提供&マッチング事業」については、会員企業からのご相談・マッチングへの対応をはじめ、環境エネルギー分野の最新動向等を紹介するエコ塾等の開催や、展示会出展支援などを実施する。また、昨年度開始した大学生との交流事業「環境と社会～九州環境ビジネス概論～」講座については、昨年度から実施の2校に加え、9月から九州産業大学で新たに開講するとともに、福岡市中小企業の脱炭素ビジネスを支援する「脱炭素ビジネス成長支援プログラム事業」を実施する。加えて、新規事業の創出に向け、会員のニーズ調査等を行い、企画部会において新規事業(案)を協議する。

会費事業：①エコ塾5回、②大学生との交流事業3校、③展示会出展1回、
④AI 活用実践ワークショップ3回、⑤会員のニーズ調査の実施 など
委託事業：①「脱炭素ビジネス成長支援プログラム事業」福岡市 委託事業

- ・ 「3 ASEAN 交流事業」については、引き続きベトナム、インドネシアにおける事業展開を支援する。支援については、①参加企業の動画制作と動画を活用した現地企業の発掘、②オンラインによる事前商談、③現地展示会への出展または現地訪問による商談、④オンラインによるアフターフォロー商談を適切に組み合わせることによって案件組成を目指す。

ベトナム：① 伴走支援及び現地訪問 会費事業
インドネシア：①「脱炭素社会構築に向けた九州・インドネシア連携プロジェクト形成・促進事業」
(一財)貿易・産業協力振興財団 助成事業

※ 上記の他、ベトナム・インドネシアへの海外展開支援に係る委託事業を今後申請予定

2 令和8年度の事業計画〔主なイベント（出展、参加を含む）〕

- ・ 下表の件名について、検討、実施していく予定（会費事業と委託事業の計）。
 - － エコ塾等セミナー開催：9回、大学生との交流事業：3校、展示会出展支援：4回、ベトナム・インドネシアミッション派遣：4回、インドネシア展示会出展支援：1回など

No.	月	日	件 名 （件名の網掛けは新規事業を、※はオンライン配信イベントを、それぞれ示す）	事業区分		費用区分	
				情報提供&マッチング事業	ASEAN交流事業	会費事業	委託事業
①	4	7	近畿大学産業理工学部の講座開講（4/7～7/21、講座15回）	○		○	
②	4	8	北九州市立大学の講座開講（4/8～7/22、講座15回）	○		○	
③	4	16	AI活用実践ワークショップ（基礎編①）第1回	○		○	
④	4	23	AI活用実践ワークショップ（基礎編②）第2回	○		○	
⑤	5	28	ASEAN環境ビジネスセミナー※		○	○	
⑥	6	18	総会 記念講演※	○		○	
⑦	6	25	第156回エコ塾※	○			○
⑧	6	26	脱炭素ビジネス勉強会	○			○
⑨	6	29	MIRAI LAB PALETTE ステージプログラム（@東京）	○			○
⑩	7	8	「課題解決 EXPO エコテクノ 2026」 出展 （7/8～7/10、@北九州メッセ）	○		○	
⑪	7	9	第157回エコ塾※（@北九州メッセ）	○		○	一部
⑫	8	11	インドネシア現地展示会「Indo Waste&Recycling Expo&Forum」出展（8/11～8/13、ジャカルタ市）		○		○
⑬	8	下旬	大学2校と連携した学生による企業PR動画の制作（～12月）	○			○
⑭	9	16	九州産業大学の講座開講（9/16～1/13、講座14回）	○		○	
⑮	9	下旬	第158回エコ塾※	○		○	一部
⑯	10	14	モノづくりフェア 2026 出展（10/14～16、@マリンメッセ福岡）	○			○
⑰	10	下旬	AI活用実践ワークショップ（応用編）	○		○	
⑱	11	中旬	第159回エコ塾※	○		○	一部
⑲	12	2	BEYOND SDGs エコプロ 出展（12/2～4、@東京ビッグサイト）	○			○
⑳	12	中旬	地域脱炭素の実現に向けた地方公共団体と企業とのマッチングイベント出展	○			○
㉑	[12]	下旬	インドネシアミッションの派遣]		○		○
㉒	[1]	中旬	ベトナムミッションの派遣]		○		○
㉓	1	28	第160回エコ塾（脱炭素ビジネス・ピッチ in FUKUOKA vol.3）	○		○	一部
㉔	2	中旬	「脱炭素ビジネス成長支援プログラム」成果報告会※	○			○
㉕	2	下旬	インドネシアミッションの派遣		○		○
㉖	3	下旬	ベトナムミッションの派遣		○	○	

役員会など	6	18	第1回役員会、令和8年度総会		○	
	11	下旬	第1回企画部会		○	
	2	下旬	第2回企画部会		○	
	3	下旬	第2回役員会		○	

※ なお、[]の件名㉑㉒は、委託事業の受託を前提に記載（不採択の場合は計画変更）。

3 令和8年度事業目標（事業別目標）

			目 標	備 考
会費事業	エコ塾	開催回数	5回	KOIC との共催
	大学生との交流事業	近畿大学	講座 15回	適切にサポート
		北九州市立大学	講座 15回	同 上
		九州産業大学	講座 14回	同 上
	AI 活用実践ワークショップ	開催回数	3回	
	展示会	出展回数	1回	エコテクノ 2026
	ベトナムミッションの派遣	商談回数	2回以上/社	
委託・助成事業	脱炭素ビジネス成長支援プログラム 〈福岡市委託事業〉	環境価値向上支援	5社	参加企業に対し左記支援を選択制で提供
		人材確保・定着支援	6社	
		展示会出展支援	5社	
		ビジネスマッチング	5社	
	脱炭素社会構築に向けた九州・インドネシア連携プロジェクト形成・促進事業 〈（一財）貿易・産業協力振興財団助成事業〉	セミナー開催	1回	現地展示会参加企業：4社
		展示会商談回数	16回	
		オンライン商談回数	20回	
		現地商談回数	10回	

※ 今後申請予定のベトナム・インドネシアへの海外展開支援に係る委託事業を受託できた場合は、改めて目標を設定

Ⅱ 個別事業の概要

1 メディアミックスによる情報発信事業

(1) ホームページやメルマガを活用した情報発信

- ・ K-RIP 事業の案内・募集や国の環境エネルギー施策・補助金などの事業支援制度、各団体のイベント情報等について、ホームページやメルマガで発信する。

あわせて、会員間のマッチングの一助とするため、新入会員の情報や会員の事業(イベント)情報をホームページやメルマガで発信する。

(2) YouTube の活用

- ・ YouTube に開設している「K-RIP World Channel」に、会員企業の事業紹介動画(現地語で制作)を掲載し海外企業との商談に活用するとともに、エコ塾のアーカイブ配信などに YouTube を活用する。

2 情報提供&マッチング事業

(1) 会員からのご相談・マッチングへの対応

- ・ 会員からの新事業創出や販路拡大、脱炭素推進等に関するご相談に応じるとともに、会員からのマッチング相手の紹介要望に丁寧に対応していく。
- ・ また、新規事業の創出に向け、会員の解決したい課題やマッチングのニーズ等を把握するためのアンケートやヒアリングを実施する。 新規

(2) エコ塾の開催

〈九州オープンイノベーションセンター 支援事業〉

- ・ エコ塾については、環境エネルギー産業等に関する新潮流の提供や会員相互の交流・ネットワーク形成などを目的として、年5回程度開催する。
- ・ 今年度は、(一財)九州オープンイノベーションセンターの支援により、同センターの「カーボンニュートラル普及啓発事業」との共催事業として実施する。また、これまでのセミナー開催に加え、セミナーとワークショップのセット開催や、大学等との連携開催など内容の充実を図る。

第 156 回「脱炭素を起点に成長戦略を描こう！！」

参加者募集中

～先進事例を学び、ワークショップで脱炭素ビジネスの可能性を探る～(敬称略)

日 時	令和 8 年 6 月 25 日(木) 14:30~16:30
場 所	オンライン開催
内 容	基調講演 「選ばれる企業になるための脱炭素戦略 ～CFP を企業価値向上につなげるには～」 アスエネ(株) 営業部・サブリーダー 大島 一真
	事例発表① 「まずやってみるGX経営～地方中小企業の現場実践～」 (株)ミズマチ 専務取締役 水町 幸浩
	事例発表② 「アルサグループの環境経営シフト～環境配慮型の事業開発へ～」 (株)アルサ サステナビリティ推進室室長 毛利 明光
	支援施策紹介 「脱炭素ビジネス成長支援プログラムについて」 福岡市 経済観光文化局 総務・中小企業部 経営支援課
	オンラインワークショップ「自社の強みをGX・脱炭素ビジネスにつなぐには」 (株) Success arts Consulting 代表取締役 篠原 啓祐

※ 下線は K-RIP 会員

第 157 回 北九州市立大学コラボ企画

参加者募集中

「製造業における人材確保へのヒント

～GX・DX×海外高度人材×大学による人材課題解決～

(敬称略)

日 時	令和 8 年 7 月 9 日 (木) 13 : 30～15 : 40
場 所	北九州メッセ 311・312 会議室 「課題解決 EXPO エコテクノ 2026」会場内 ※ オンライン配信実施
内 容	基調講演 「DX時代の製造業人材戦略～人をより活かす経営へ～」 三菱総研DCS(株) 九州支社長 中村 祥子
	GX×DX 実践事例「Dream Map で実現する人材戦略」 熱産ヒート(株) 代表取締役社長 川口 千恵子
	地域製造業の人材経営「地域製造業が挑む GX 人材づくり」 松本工業(株) 取締役技監/Jmec 事業部長 早川 弘幸
	海外高度人材活用事例「アジアを中心とした高度外国人材活用で進める技術革新」 (株)中山ホールディングス 開発企画部 取締役部長 渡邊 美信
	大学の取り組み「産学共創 PBL で育むデジタル・イノベーション人材」 公立大学法人北九州市立大学 理事・副学長 中武 繁寿

※ 下線は K-RIP 会員

その後の開催予定

	時 期	テーマ(案)
第 158 回	9 月下旬	「よくわかる GX2040 ビジョン 個別事業編」として 今後テーマを検討
第 159 回	11 月中旬	
第 160 回	1 月 28 日 17 : 30～18 : 20	脱炭素ビジネス・ピッチ in FUKUOKA vol.3 場所 : 福岡市 天神 「ONE FUKUOKA BLDG. 6 階 スカイロビー」

※ テーマに応じた製品・サービスのプレゼン、またはピッチを希望する会員を募集しています！！

(3) 人材育成事業

① 大学生との交流事業

- ・ 会員企業及び大学生双方に以下の機会を提供するため、近畿大学、北九州市立大学及び九州産業大学(今年度開講)の協力のもと、九州の環境産業の最新動向等を提供する講座「環境と社会～九州環境ビジネス概論～」を、会員企業を講師に開催する。
 - － 会員企業 : 企業の認知度向上・PR
: 大学生との繋がり の機会提供(リクルートに向け学生に知ってもらう)等
 - － 学 生 : カーボンニュートラルや九州の環境産業に対する理解促進
: 社会・企業の実情を知る機会の提供 等
- ・ また、本年 2 月に北九州市立大学と締結した産学連携協定を活かした取り組みを検討、実施する。

講座の概要

	学校法人 近畿大学	公立大学法人 北九州市立大学	学校法人 九州産業大学	新規 開講
学 部	産業理工学部	国際環境工学部	理工学部	
場 所	福岡キャンパス (飯塚市)	ひびきのキャンパス (北九州市若松区)	(福岡市東区)	
日時/回数	4/7～7/21 の火曜日 11:00～12:30(90 分) 計 15 回	4/8～7/22 の水曜日 13:00～14:30(90 分) 計 15 回	9/16～1/13 の水曜日 13:40～15:20(100 分) 計 14 回	
年次/受講数	2・3 年生/40 人 (最大)	3 年生/80 人 (最大)	1 年生/100 人 (最大)	
科目/単位	共通教養科目/2 単位	生理学/2 単位	教養講座/2 単位	
講座名	環境と社会 ～九州環境ビジネス概論～			
内 容	九州の環境ビジネスの最新動向について、行政やシンクタンク、企業の第一線で活躍する講師から実例を通じて学ぶカリキュラム ※ 基本構成：企業紹介、事業研究 …………… 70 分 (九産大 80 分) 質疑応答、小テスト、レポート … 20 分			
講 師	① 九州経済産業局 ② ㈱野村総合研究所 ③ 九州電力㈱ ④ 清本鉄工㈱ ⑤ ㈱ワイビーエム ⑥ ㈱サニックスホールディングス ⑦ ㈱新菱 ⑧ I-PEX㈱ ⑨ トータルケア・システム㈱ ⑩ ㈱エコウッド ⑪ 西部電気工業㈱ ⑫ ㈱ウエルクリエイト ⑬ ㈱寺田鉄工所 ⑭ 飯塚市 ⑮ 担当教授によるまとめ	九州経済産業局 ㈱野村総合研究所 九州電力㈱ 清本鉄工㈱ ㈱ワイビーエム ㈱サニックスホールディングス ㈱新菱 I-PEX㈱ トータルケア・システム㈱ ㈱エコウッド 西部電気工業㈱ ㈱ウエルクリエイト ㈱くりんか 北九州市環境局 担当教授によるまとめ	九州経済産業局 ㈱野村総合研究所 九州電力㈱ 清本鉄工㈱ 福岡市環境局 I-PEX㈱ ㈱新菱 大石建設㈱ ㈱サニックスホールディングス 平木工業㈱ トータルケア・システム㈱ ㈱三社電機 ㈱エコウッド 担当教授によるまとめ —	

② AI 活用実践ワークショップの開催 新規

- ・ 会員の人材育成、業務効率化及びネットワーク構築の一助として、「AI 活用実践ワークショップ」と題して、専門家を招き AI の活用に向けた講義及びワークショップを基礎編と応用編に分けて 3 回開催する。
- ・ 基礎編については、4 月 16 日、23 日の両日、少人数・ハンズオン形式にて下表のとおり開催した。
- ・ 応用編については、10 月下旬頃、少人数・ハンズオン形式にて NotebookLM・Genspark 等を使った社内資料活用や経営分析・レポート作成、AI 導入の社内展開などをテーマに開催する予定。

「中小企業のための「今すぐ使える」AI活用実践ワークショップ（基礎編 全2回）
～メール返信から企画書・議事録まで、現場で「使える」AIスキルを身につけよう！～」の開催概要

日 時	第１回：令和８年４月１６日（木）１４：００～１７：００ 第２回： " ４月２３日（木）１４：００～１７：００
場 所	（一財）九州オープンイノベーションセンター３階大会議室
参加者	第１回：１３人、第２回：１５人 ※ 少人数・ハンズオン形式
講 師	古賀マネージメント総研(株) AI サポート事業部 部長 古賀 義隆（敬称略）
内 容	第１回：メール・社内文書編 ・ ChatGPT 無料版のアカウント作成・セキュリティ設定や基本操作、 プロンプト作成、メール作成・添削・返信、社内連絡文の作成を中心 に、初心者でも業務で使い始められる内容について講義後、ハンズ オンと個別ワークを実施
	第２回：WEB 検索・社内知識の AI 化 ・ Perplexity・Gemini・ChatGPT 等を比較した Web 検索や NotebookLM による社内知識の AI 化・総務 BOT 作成、Genspark・Claude 等の活 用可能性、法人利用時のセキュリティ判断基準などについて講義 後、ハンズオンと個別ワークを実施

(4) 脱炭素ビジネス成長支援プログラム 新規 〈福岡市 委託事業〉

- ・ 本事業は、先駆的に脱炭素に取組む福岡市内中小企業の販路拡大と、脱炭素分野に関心の高い人材の確保・定着を一体的に支援することで、同業他社との差別化や競争力強化を図り、持続的な成長と脱炭素ビジネスを牽引するロールモデルの創出を目指すもの。
- ・ プログラムへの参加要件を満たし、本事業に参加する企業を「福岡市カーボンニュートラル貢献企業」と呼称し、決定通知書を交付の上、下表の各種支援を実施。年度末には成果報告会を開催し、ロールモデルの周知を図る。

本プログラムの支援内容一覧

	支援内容	支援社数
選択制	①環境価値向上支援 ・参加企業の製品・サービスのカーボンフットプリント算定や算定結果を活用した環境価値向上を支援	5社
	②人材確保・定着支援 ・参加企業が採用活動に使える企業PR動画を福岡市内大学の学生が学生目線で制作	6社
	③展示会出展支援 ・東京、大阪、福岡などの展示会への出展を支援	5社
	④ビジネスマッチング ・自治体への提案や個社マッチングなどの商談機会を提供	5社
共通	①事例集への掲載 ・貢献企業の製品・サービスを取りまとめた事例集を発行しPR	
	②各種販路拡大支援 ・各種イベントの案内や相談対応等販路拡大に繋がる各種支援を用意	

(5) 展示会への出展

① 「課題解決 EXPO エコテクノ 2026」への出展

- ・ 7月8日～10日、北九州市の北九州メッセにおいて開催される展示会「課題解決 EXPO エコテクノ 2026」への出展を支援する(協力：(公財)北九州観光コンベンション協会)。あわせて、同会場においてエコ塾を開催(共催：北九州市立大学、KOIC、北九州環境ビジネス推進会)し、北九州地区の会員の相互交流・ネットワーク形成やK-RIPの認知度向上を図る。
※ 出展会員：(株)アステック入江、(株)九州ハイテック、(株)寺田鉄工所、
宮崎県、(公財)宮崎県産業振興機構、(株)リサイクルテクノロジーズ

② 地方公共団体と企業とのマッチングイベントへの出展

- ・ 毎年秋頃に開催されている「地方公共団体と企業とのマッチングイベント」に、出展希望の会員を募り出展し、参加の地方公共団体に会員及びK-RIPの製品・事業紹介を行い、今後の製品購買や連携に繋げる。

(6) 総会・記念講演、役員会、企画部会の開催

- ・ 総会・役員会・企画部会において、事業計画や予算、事業の進捗状況、新規事業(案)等を審議するとともに、環境エネルギー等に関する最新動向等を提供する総会・記念講演を開催する。

令和8年度「総会・役員会・企画部会」の開催予定

	時 期	議 案
総 会	6月18日	7年度事業報告・決算、8年度事業計画・予算、役員選任 等
役員会①	6月18日	総会議案の審議
役員会②	3月下旬	8年度事業報告・決算見通し、9年度事業計画・予算 等
企画部会①	11月下旬	8年度の事業進捗状況、新規事業(案)の協議 等
企画部会②	2月下旬	8年度事業報告・決算見通し、9年度事業計画・予算等

令和8年度総会「記念講演」

講演者：ニュースキャスター 佐々木 理恵 氏

演 題：「エネルギーの現場から考える、コミュニケーションでつなぐ地域と未来」

3 ASEAN 交流事業

(1) ベトナム

① ベトナムミッションの派遣：令和9年3月訪問予定

- ・ これまでのベトナムとの交流で培ったネットワークを活かし、ベトナムにおける事業展開を目指す会員企業と現地企業等との案件組成に向けた伴走支援を実施する。
- ・ 具体的には、ベトナムにおける事業展開を希望される会員企業とミーティングを行い事業展開の方向性を明確にした上で、現地企業や政府機関、大学等とのオンライン商談を実施する。その後、3月を目途に必要な応じベトナムを訪問し、会員企業と現地企業との商談を行い、案件組成を目指す。

(2) インドネシア

① 脱炭素社会構築に向けた九州・インドネシア連携プロジェクト形成・促進事業

：令和8年8月及び9年2月訪問予定（(一財)貿易・産業協力振興財団 助成事業）

- ・ 本事業は、脱炭素関連分野の技術を有する九州域内企業のインドネシアにおける事業展開を支援するもので、キックオフとしてインドネシア市場等を学ぶ勉強会「ASEAN 環境ビジネスセミナー」を5月28日に下表のとおり開催した。
- ・ 8月には、インドネシア・ジャカルタ市で開催される展示会「Indo Waste&Recycling Expo&Forum」への出展支援（支援予定企業4社）を行い、出展後には、オンラインによるアフターフォロー商談を実施する。また、未出展の参加企業については、現地コーディネーターが事業紹介動画を活用し選定した現地企業とのオンライン商談を実施する。
- ・ その後、2月に現地を訪問し、オンライン商談により繋がりのできた現地企業と参加企業との商談を実施し、案件組成を目指す。

「ASEAN 環境ビジネスセミナー～インドネシア・ベトナムにおける実例から学ぶ 参入戦略～」の開催概要

（敬称略）

日 時	令和8年5月28日（木）14：30～17：00
場 所	オンライン開催
参加者	50名
内 容	第1部 インドネシア編 14:30～15:30 「インドネシアにおける脱炭素施策の動向とビジネス機会に関する展望」 在インドネシア日本国大使館 一等書記官 重松 賢行 「海外展開による脱炭素舗装の取り組み」 (株)菅原工業 代表取締役 菅原 渉
	第2部 ベトナム編 15:30～16:25 「ベトナム概況および脱炭素動向について」 (株)みずほ銀行 国際戦略情報部 ヴァイスプレジデント 鈴木 宏 「ベトナムにおける使用済み太陽光パネルのリユース・リサイクル事業の開発」 (株)浜田 事業戦略推進部係長 丸小野 愛梨
	第3部 現地への展開支援について 16:25～17:00 「環境インフラ海外展開プラットフォーム（JPRSI）を通じた支援について」 (一社)海外環境協力センター 事務局長兼業務部門次長 環境インフラ海外展開プラットフォーム（JPRSI）事務局 松藤 佑介 「ASEAN 地域におけるビジネス拡大に向けた取組」 九州経済産業局国際部経済交流促進課海外展開支援室 山下 莉奈 「その挑戦を、福岡市は本気で応援しますー海外展開支援策、そして継続的な伴走についてー」 福岡市経済観光文化局投資交流推進部海外ビジネス支援課係長 吉田 哲也

※ 下線はK-RIP 会員

※ ASEAN 交流事業については、上記の2事業の他、ベトナム・インドネシアへの海外展開支援に係る委託事業を今後申請予定。

4 会員への支援の充実及び財政基盤の確保に向けた取組み

- (1) 会員への支援事業の充実に向けて、マネージャーの増員（１名、スポットでの実施を含む）を検討、実施する。
- (2) あわせて、会員への一層の支援やネットワーク拡大、財政基盤の確保のため、新会員の獲得や新たな委託事業等の受託に努める。
- (3) また、K-RIP の法人格取得（NPO 法人格、一般社団法人格）に関する情報収集や、法人格取得によるメリット・デメリットの評価を引き続き実施する。

以 上